

K.I.T.虎ノ門大学院 学習支援計画書(シラバス)

※ 欠席・遅刻する場合は、事前相談/連絡を徹底してください。(連絡先: 虎ノ門事務室 [メールまたは電話])
 ※ 授業中の食事は控えてください。携帯電話はマナーモードにするなど、受講するにあたってのマナーをお守りください。

科目名	科目コード	単位数	開講期	VOD閲覧
ビジネス分析要論	Z 200	1 単位	1 学期	学内・学外
Essentials of Business Analysis				
科目分野		課程領域		
経済学		ビジネスマネジメント専門科目		
担当教員名	メールアドレス	連絡方法 / オフィスアワー		
村上 敏也	-	メールにて随時		

関連している科目(履修推奨科目)

ビジネス分析特論	オペレーションズマネジメント要論	ビジネスインテリジェンス特論
戦略思考要論	企業戦略要論	ビジネス・エコノミクス特論

授業の概要と到達目標

授業の主題と概要

成熟化がすすむ情報社会においては、複雑な課題をデータ分析とチームワークによって迅速に解決することが今後ますます重要となってきています。一方で、企業的意思決定権がますます再配分され、消費者や現場の従業員による意思決定プロセスへの参加が加速しています。こうした環境において、データ分析の果たす役割はますます重要なものとなってきています。そこで本科目ではまず、定量的意思決定の基礎となる統計・数学の知識について表計算ソフトなどを活用して学習します。また、実際に分析されたレポートを理解する演習を通じて、データ分析に基づいてチームワークで意思決定を改善するために必要な態度と技能について体験的な理解を深めていきます。

到達(修得)目標

定量的データを経営の現場で意思決定とコミュニケーションの改善にいかす実践力を身につけるための基本となる統計および数学の知識について体験的に直観を磨き、データの収集・加工、データの特性の記述に慣れることを目指します。また、今後の経営において必要となるデータ分析リテラシーおよび相互に学び合う態度(学びの共同体)を涵養することを目標とします。

受講対象者

定量的データをチームワークでの意思決定に活用したいと考える全受講生

履修上の注意事項やアドバイス

本講義は、これまで統計やデータ分析について、ほとんど知識・経験のない方を想定して、講義とケースメソッドまたは演習により授業が進めていきます。統計、数学、あるいは数字に不慣れであっても、積極的に質問や発言をして、各自が持参するノートPCで実際に自分の手を動かしてみようとする好奇心と行動力が参加者には強く期待されます。演習は、表計算ソフト(MS-Excel)の使用を予定しています。この科目では単に教わることは期待せず、教員を含む他の参加者から情報を引き出し、また自分の考えや情報を他の参加者に提供し、相互の学びに貢献するチームワークを大切にしてください。講義による受け身の授業ではありません。なお、実際の授業計画および演習課題の内容は履修者の関心や経歴に応じて変更することがあります。

※ 欠席が、2コマ(90分=1コマ)を超える場合は、単位修得にも影響する。欠席の際は、事前連絡を徹底すること。

※ 担当する教員は実務家教員とする。

※ 授業にて配布する資料等教材や講義収録映像・音声の無断転用・転載を禁じます。

コンピテンシ修得目標

知識領域 (Y軸)		ヒューマンパワー (Z軸)		思考プロセス (X軸)	
Y1: 基盤法令・テクノロジー		Z1: 問題発見力	○	X1: 企画	
Y2: 応用法令・実務・テクノロジー		Z2: 独創力		X2: 構想	
Y3: グローバル法令・実務		Z3: 問題解決力	○	X3: 調査・分析	○
Y4: マネジメント	○	Z4: プレゼンテーション力	○	X4: 設計・開発	
Y5: 戦略立案	○	Z5: 変革推進力		X5: 変革	○
Y6: 標準化		Z6: コミュニケーション力	○	X6: 導入・運用	
		Z7: リーダーシップ力		X7: 評価・検証	○
		Z8: ネゴシエーション力		X8: リーガルマインド	
		Z9: オーナーシップ力		X9: ライフサイクル	

プラクティカム

イベント / ケース		教育技法	マテリアル / ツール
1	ツールによる計算力の補完	演習	講義資料
2	「統計学入門書の説明に慣れる」	グループワーク、クラス発表	当日配布資料
3	「質問づくりゲーム(相関係数)」	グループ討議、クラス討議	講義資料
4	確率分布を使ったシミュレーション	演習	シミュレーションソフト
5			
6			
7			
8			

評価の方法		
(総合評価項目と割合)	評価の要点	
クラス貢献(討議・ディスカッション)	70%	クラス貢献は、グループ討議、クラス討議における、発言内容の正誤ではなく、「参加者相互の学び」に貢献する発言・態度を評価します。各日の授業終了後に、個人ワーク、グループ討議、気付き・学び、自身のクラス貢献などをメモした、授業レポートを提出して頂きます。授業レポートは、A4一枚程度を想定しています。
授業レポート	30%	
合計	100%	

テキスト・参考図書など		備考
※ 追加する場合を含め、一部変更となる場合もございますので予めご了承ください		
テキスト (購入が必要)	※適宜、講義資料を配布します	
参考図書 (購入は任意・講師推奨)	『Head First Statistics』ドーン・グリフィス、黒川利明・木下哲也ら訳(オライリージャパン) 『Head Firstデータ解析』Michael Milton、大橋真也・木下哲也訳(オライリージャパン) 『直感的統計学』吉田耕作(日経BP社)	
参考URL		

コマ	学習内容	事前準備・課題	担当者	時間
1.2	オリエンテーション 統計学とは？	表計算ソフトをご持参ください	村上	180分
	数理能力と経営 統計に必要な数学用語の復習	基礎的な統計用語について、入門書等を眺めてきてください		
	イベント	演習:ツールによる計算力の補完		
3.4	経営に役立つ数学用語の復習 データの形と特性値「平均・分散・分布」	データ分布の特性値やグラフについて、入門書やウェブ等で調べてきてください	村上	180分
	仮説の検証と検定 データの取得・加工・分析			
	イベント	グループワーク、クラス発表:「統計学入門書の説明に慣れる」(当日配布)		
5.6	経営分におけるデータ分析結果を読み解く(1)	配付資料を読んできてください	村上	180分
	データ間の関係 相関・回帰分析の仕組み	データ分布		
	イベント	グループ討議、クラス討議:「質問づくりゲーム(相関係数)」、クラス発表・討議		
7.8	経営分野におけるデータ分析結果を読み解く(2)	配付資料を読んできてください	村上	180分
	確率分布を使ったシミュレーション	配付資料を読んできてください		
	イベント	グループワークによる分析結果の共有、課題発見、解決策の提案、クラス発表・討議		

- ※ 講義日程は、学事ポータル上の講義日程表をご参照ください。
- ※ 学習内容やスケジュールは、状況に応じて一部変更・改善が生じる場合があります。
- ※ 講義収録は、特別講師を招く場合など、内容によっては収録できない場合があります。